

# 令和5年度 第3回三郷区地域協議会

## 次 第

日時：令和5年6月20日(火)午後6時30分～  
会場：三郷地区公民館 2階 集会室

### 1 開 会

### 2 議題等の確認

### 3 報 告

- (1) 学校適正配置に係る三郷小学校の状況について

### 4 議 題

- (1) 「地域活性化の方向性」の活用について

### 5 事務連絡

### 6 閉 会

#### 【今後の日程】

第4回三郷区地域協議会

7月25日(火)午後6時30分～ 三郷地区公民館 集会室

第5回三郷区地域協議会

8月22日(火)午後6時30分～ 三郷地区公民館 集会室

## 三郷小学校の適正配置に係る説明会の結果について

### 1 三郷小学校における学校適正配置についての説明会の開催状況

会 場	開催日	参加人数
三郷小学校	5月28日	30人

### 2 説明会での主な質問と回答

**質問：教育委員会として南本町小に統合することを決定したのですか。**

回答：保護者へのアンケート結果により和田小と南本町小を統合候補校とし、両校の概要や利点と課題を示したうえで保護者と意見交換を実施しました。  
その結果、両校の希望が同数となり、保護者から教育委員会で決めてほしいとの意見をいただいたことから、学校の適正配置設置基準に定める学校規模になること、空き教室が十分にあることや中学校までの通学ルートが同じであることなどを勘案し、教育委員会として南本町小を統合候補校とする案をお示ししたところであり、決定ではありません。

**質問：今後、統合の方向性をどのように確認し、進めるのですか。**

回答：本日の意見交換の結果をPTAや町内会長連絡協議会、地域協議会に報告し、意見をいただきます。

**質問：統合の方向性はどのように判断しますか。教育委員会が決めるのですか。**

回答：意見交換を進める中で、教育委員会として方向性を判断し、最終的には設置者である市長が決定します。ただし、地域の合意がなされていない状況であれば、教育委員会として統合の判断はしません。

**質問：保護者だけに相談して進めるのではなく、地域に働きかけながら進めるべきではないですか。**

回答：保護者との意見交換を行い、その都度、町内会長連絡協議会と地域協議会に報告してきました。ある程度の方向性が整理できた段階で、チラシの全戸配布を行うなど、地域の皆さんに情報提供してきたところです。

**質問：なぜ地域への説明よりも先に新聞報道があったのですか。**

回答：新聞報道については、公開で実施する地域協議会に報告した際に取材があったものです。地域の皆さまと協議していく段階で、当日もそのように説明したにも関わらず、三郷小学校の統合が決定したと誤認するような報道内容であったため、新聞社に対して抗議しています。

**質問：令和7年度の統合とする場合、準備期間が短いのではないですか。**

回答：統合の合意を得てから、統合まで約2年の間に準備を行っています。このスケジュールは、他の学校の統合スケジュールと同様です。なお、令和7年度に統合することが決まっているわけではありません。

**質問：統合が1年遅れた場合、どのような弊害がありますか。**

回答：統合の前年度は、教員1人の加配を要望するため、令和7年度統合の場合は、加配教員をあてることで令和6年度は複式学級とせず済みますが、統合が1年遅れた場合は、令和6年度に加配教員が配置されないため、複式学級が発生します。また、加配教員は1人だけなので、複数の複式学級が発生すると対応が難しくなります。

なお、加配教員の要望時期は10月頃までとなります。その前に統合の合意が得られなければ、統合を1年遅らせることとなります。

**質問：編入統合する場合は、三郷の名前が無くなるということですか。**

回答：基本的には、規模の大きい学校に編入統合することとなりますが、統合先との協議も必要となります。近年では、古城小が直江津小に編入統合しています。

**質問：保育園については、三郷、和田、大和で統合を検討していると聞いたため、和田小との統合の方が良いと考えますがどうですか。**

回答：小中学校は学区により通学先が決まりますが、保育園は学区に関わらず通園先を選択できます。南本町小を提案したのは、今後の児童数の見込みや学習環境から判断したものです。

**質問：これまでに統合によるいじめはありましたか。**

回答：統合によるいじめはありませんが、これまでの学校にいなかったタイプの友達などの影響により不安定になった子が数名いましたので、教師が児童の様子について情報共有する機会を小まめに設けるなどの体制をとっています。教育委員会としても、仮にいじめがあったと学校から連絡があった場合にはサポートできる体制を整えています。また、統合前に交流活動や合同学習により、子ども同士が関わり合える取組を行っています。

**質問：南本町小学校の制服購入の費用負担が発生することや、仮に制服を購入しなくてよいとなっても、それによる差別が懸念されるため、制服を廃止することを統合の条件にすることはできませんか。**

回答：制服については、今後、南本町小の関係者と協議することとなり、これから検討していく段階です。

**質問：町内会のアンケート結果を全て示していただくことはできますか。**

回答：町内会のアンケート結果については、町内会長連絡協議会とご相談くださるようお願いいたします。

### 3 説明会での主な意見・要望

- ・統合先の小学校について、保護者の意見が南本町小と和田小に分かれた時点で地域に説明し、意見を聞いてほしかった。
- ・和田小より南本町小の児童数の減少率の方が高い。
- ・保護者の意見だけをもとに教育委員会が決めるのはおかしい。
- ・地域に説明、意見聴取する前に新聞に情報が出ないように注意してほしい。
- ・統合することは理解する。
- ・南本町小の統合との方向性が示されたが、アンケートでは和田小の希望数の方が多かったので、丁寧に説明してほしい。
- ・個人的に和田小との統合がよい。
- ・統合先は地域同士のつながりがある方がよい。
- ・2月のチラシ配布にあわせて町内会でアンケートを実施したが、約1割の36戸の回答しか集まらなかったが、チラシだけでは理解しづらかったのではないか。

### 4 今後の予定について

今後、三郷区の各町内会において「三郷小学校における学校適正配置についての説明会（5月28日開催）」の資料とともにアンケートを配布し、7月中に結果をまとめるご意向とお聞きしています。

アンケート結果を踏まえて、改めて保護者をはじめ、地域の皆様と意見交換を行い、子どもたちにとってより良い学習環境について考えてまいります。

第2回三郷区地域協議会における「地域活性化の方向性」の活用に係る意見一覧

資料No.1

委員名	意見要旨	キーワード
保坂副会長	三郷小学校の問題があるが、統廃合の結論が出たら、公民館の問題と跡地の問題をどうしていくか、みんなでこの地域を挙げて、子どもたちから高齢者も含めた上で、どんな形のものがいいのかを話し合っていけばよい。それをしながら、こんな活動もしていきたい、あんな活動もできるなど、例えば、とてもいい景色があるので、みんなで時々回って写真を撮って、それを公民館に順番に飾ってみるなど、いろいろなことをやりながらアイデアが出てくると思うので、人と人をつなぐ活動ができればいい。	小学校 人と人をつなぐ活動
竹内会長	三郷の農業が気になっている。若いころ、三郷のブランド化を目指したことがあるが、農協に却下された。三郷米(みさとまい)という形で、企画している農協の担当とも動いたが、上層部には受けが悪くてことごとく却下された。これから圃場整備が進んでいく中の、大きくなる補助を利用した三郷米の農産物のブランド化の推進が、これからの目標である。いろいろな場面で発信していければと思っている。	農業、ブランド米
伊藤副会長	今「春駒」という活動に携わっている。もしかしたら、今はもうないけれど昔はこういうのがあったというものが、何かもう一つでもあれば、それがまたいろいろな活動の輪を広げるものにもなるかと思う。この春駒を通じて三郷区と、外に出ればこの地域以外にも「春駒」というものもあるので、そういうところとのつながりができれば、三郷区の春駒もいろいろな人に知っていたいで、注目を浴びられる活動もしていきたい。三郷区のホームページができて、今のこの風景とかの写真をアップして、外に発信して、三郷区を知ってもらえる、外からも注目されていたいただける地域が目指せればよい。	春駒
市村委員	構成要素の「美しい風景を守る」というところで、空き家とそこに付随する木、整備されていない木がすごく気になっている。空き家問題を解決して、空き家にまた新たな住民が入ってくるような形をとっていければ、どんどん若者が減って行って高齢者が増えていくような状況を多少なりとも改善できるし、鬱蒼と茂った木がなくて、景観も良くなるかと思う。空き家の問題は、地域だけでは多分どうにもならないと思うので、行政等にも入っていただいて、地権者と折衝しながら、何とかできたらいいなと考えている。	空き家問題の解消
伊藤光夫委員	完成した「地域活性化の方向性」を地域の皆さんに早めに周知し、皆さんの意見をまた聞いて、委員の中でまたそれを参考にして話し合っ進めていくのもいいのではないかと。上越タイムズに人や会社のリレーをしていく欄があったが、その中に三郷の方も二、三人いろいろ取組をされている方がいるので、いろいろなところから、皆さんに知られてない三郷区でも、独りでやっている方がいらっしやるので、そういうのも取り上げながら、この地域として皆さんに知っていただく行動の中に入れていければと思う。	地域リーダーの紹介
小山委員	「春駒」を取り上げて活動し、有意義なことに携わることができ、すごくありがたかった。実際DVDができたがそれで終わりではないし、これから踊り手を募集し、募っていかなくてはいけない。さらには、その指導者の育成というか、指導できる人をもっと増やしていかないことには、伝承や保存も難しいのかなと思っているので、なかなか終わりが見えない活動なのかも感じている。こういう、今まで知らなかった地域活性化に携わっていけることもすごくありがたいなと思うし、もっと地域の人たちにもこういう活動があるということを知ってもらえたらと思った。	春駒
荻戸委員	構成要素をできるだけ万遍なく盛り込んで何かできればいいなというのがある。考えていたのは、一つはイベントである。現状は各活動団体がたくさんあるが、人材不足によりその活動がしにくくなっているとすれば、各種団体がすべてそろって、一つのイベントをすることができれば、人数も確保できるし、活動できる人間も確保できる。イベントを通じ、次世代を担う人材育成、地域の魅力の発信ができるのではないかと。また、農業を生かしたブランド化を進めるような農産物の販売といったものも取り込めるし、「春駒」の伝統芸能を続けるためには、披露していく場を提供してあげることが重要なのではないかと。地域の子どもから高齢者まで全員が参加できるというようなイベントがいいのではないかと。	イベント開催
平田清委員	完成した「地域活性化の方向性」を次にどう使うかという話になったときに、これ自体が漠然とした表現で、三郷にはこういういいところもある、こうしていったほうがいいところまでしか書いてなくて、具体的なものは何も出ていない。であれば、一度この地域活性化の方向性ということについては離れた形で、これから、自主的審議事項をやらなければいけない。これ自体が自主的審議事項の題材になるかと言われると難しい部分もあるが、自主的審議事項を検討していく中で、これを使っていければいいのかなと考えている。	自主的審議事項の検討に活用
平田伸一委員	去年の12月に、地域の団体の方々との意見交換会を行った。「地域活性化の方向性」を今度具体的に進めるとなれば、再度、団体の代表者の方々から集まっていたいで「こういう議論の経過でこういうふうな方向性ができました」と知ってもらうのが一番だろう。そのための会議を持つべき。そして、地域独自の予算を活用している団体も含めて集まっていたいで、意見交換する場が必要だろうと思う。また9月いっぱいでおそらくまとめると思うから、7月ぐらいに予定しないか間に合わない状況ではないか。もう一つは、まちづくり振興会との関わりをどういう形で具体的に持っていくのか。まちづくり振興会でも地域の活性化や福祉の充実とかいろいろなことを事業内容、あるいは目的の中に掲げている部分があるから、その辺との整合というか、一緒にやっている部分は何なのか。一緒にやるというよりも私たちが何をやるかである。私たちは、こういう提供をするだけでいいのか。地域協議会委員という立場であれば、その中で、どうやってこの実効性を担保していくのが大事なことだろうと思う。その一つの方法、手段として、まちづくり振興会との中身を詰めていくという具体的な対応があっているのかと思う。	団体との意見交換会 三郷まちづくり振興会
山口委員	地域協議会で委員としてやるのは限界があると思う。平田伸一委員がおっしゃったとおり、まちづくり振興会という一つのすばらしい団体があるから、町内会長協議会、各団体の意見を交換しながら進めていくのはベストなのだろうと思う。任期ももう少しで終わるが、種を蒔いて、また次の人に花を咲かしてもらおうような役割でもいい。上越市創造行政研究所ニューズレター創造行政No.52の記事で徳島県神山町のまちづくりに学ぶということで、その中に「遊び心もあっていい」と講師の方がおっしゃっている。遊び心を考えながら、間違ったことがあったら修正する。そんなことをやっていけばいいのではないかと。これを進めるにおいてあと少しの任期だが、他の団体の皆さんといろいろ話し合っこの一つでも種を蒔ければいいのかなと思っている。それには自主的審議のテーマを挙げてもいいのではないかと。	団体との意見交換会 三郷まちづくり振興会
吉田委員	構成要素をどうやって具体化していくかだが、各種団体への周知が大切。2行目に魅力の発信とあるが、例えば、広報誌、SNS、動画、ラジオ、ホームページ、それから、ポスターとかチラシがあると思うし、広報誌については、ほとんど市とか町のみでやっていて小さいところでやっているところは、なかなか難しいというのがあるので、例えば、制作とか編集を業務委託してそれに予算をつけていただいて、三郷の魅力を発信する。SNSでは、ツイッターとかフェイスブック、動画については、ケーブルテレビとかYouTube等で配信できればいいかと思う。	団体への周知
渡部委員	地域を知るイベントをやるのがいいかと思う。例えば、これからであれば、松の木に蛍は今もいるのか。そういうところを計画して、行って写真を撮るとか、桜の名所ではないが、地域のあるところをみんなで回るイベントをすとか、地域の人間が動くような活動を計画すれば面白いかなと思っている。外の人を呼び込むのであれば、三郷をランニングしている人がいるので、そういうところを整備するのもいいかと思っている。ホームページを作ったらいいいのではないかと思う。簡単なホームページでもよいので、地域の住民が自分たちで作るという講座みたいなものも合わせて、ゆっくりでもいいので作っていく。そして、地域の人が出てくれる写真とか、そういうものを紹介していくと知らないものも上がってくると思うので、面白さを持たせたらいいのではないかと。それも、パソコンも触ったことのないような高齢者に作ってもらおうのが面白いかなと思った。そういうことで怖がっている人もパソコンに触れる機会を提供していくのも面白いのではないかと。	イベント開催